

2003 年度デジタルポートフォリオ・プロジェクト報告書

第 2 部 調査編

第 4 章

デジタルポートフォリオ学習・評価活動における保護者向け調査報告書

I はじめに

デジタルポートフォリオ・プロジェクト（以下 DPP）は、デジタルポートフォリオを授業と授業評価に活用するプロジェクトである。そして、デジタルポートフォリオを授業と授業評価に活用することの効果をあきらかにすることを目的とし、デジタルポートフォリオのより一層の有効的な活用を目指すプロジェクトである。プロジェクトの研究実践に用いる題材は、コンピュータを使用する図画工作科題材「○○の気持ち」である。この題材において、1) DPP の Web Site にプロジェクトメンバーが作成・更新するデジタルポートフォリオ、2) 学校サーバーにデジタルワークカードを保存・集積するデジタルポートフォリオを活用する。この題材の授業実践後、「DPP の Web Site を活用した授業」「デジタルワークカードを使用した授業」「DPP の Web Site による授業公開」の実態を調査する。調査は児童と教師と保護者を対象にアンケートによって実施する。

本報告書は、2003 年度 DPP の Web Site と i モードサイトについて、保護者が感じたことをアンケート調査し、その結果を報告するものである。

II 研究の方法

1. 目的

保護者が DPP に対してどのような考えを持っているのかを探る。

- (1) 保護者が 2003 年度 DPP の Web Site についてどのような考えや思いを持っているのかを探る。
- (2) 保護者が i モードサイトについてどのような考えや思いを持っているのかを探る。

2. 方法

- | | | |
|-------------|-----------------|---------|
| (1) 調査対象保護者 | 石川県金沢市立犀川小学校 | 5 年生保護者 |
| | 熊本大学教育学部附属小学校 | 5 年生保護者 |
| | 和歌山県かつらぎ町立大谷小学校 | 6 年生保護者 |
| | 和歌山県高野町立高野山小学校 | 5 年生保護者 |
| | 千葉県柏市立旭東小学校 | 5 年生保護者 |
| | | 合計 94 名 |

- (2) 調査期日 2003 年 7 月 11 日～同年 7 月 22 日

- (3) 調査項目

1、児童作品が掲載されたデジタルポートフォリオ (<http://2003.d-project.jp/dpp/>) のホームページについてお聞きします。

○ このホームページをみたことがありますか。

1.見たことがある 2.見たことがない

○ このホームページに関するご意見ご感想をお書き下さい。

2、児童作品が掲載されたiモードサイト (<http://www.dh-comm.net/imode/dpp/>) についてお聞きします。

○ このiモードサイトをみたことがありますか。

1.見たことがある 2.見たことがない

○ ご覧になった方にお聞きします。

◇画像は見やすさはいかがでしたか。

1.見やすかった 2.普通 3.見にくかった

◇見にくかったのはどのような理由からですか。

○ 画像とコメントが表示されるまでの速度はいかがでしたか。

1.速かった 2.普通 3.遅かった

○ iモードサイトに関するご意見ご感想をお書き下さい。

3、お子さまの作品などをご覧になった後の、お子さんとの会話などご紹介いただければ幸いです。

(4)手続き

質問紙を家庭に配付しアンケート調査を実施した。

Ⅲ 結果と考察

アンケートの設問順に集計結果とそのグラフを提示し考察を述べる。なお、本アンケートの回収率は、35.9%である。

1、児童作品が掲載されたデジタルポートフォリオ (<http://2003.d-project.jp/dpp/>) のホームページについてお聞きします。

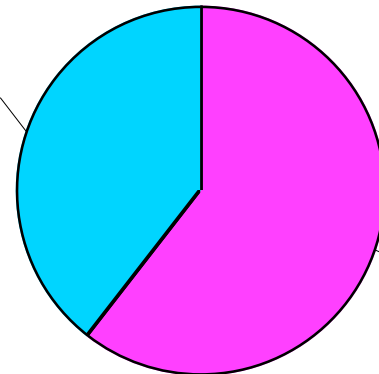
○ このホームページを見たことがありますか。

このホームページを見たことがありますか

○このホームページを見たことがありますか。

見たことがある	57人	60.6%
見たことがない	37人	39.4%
	94人	100.0%

見たことがない
39%
(37名)



見たことがある
61%
(57名)

○このホームページに関するご意見ご感想をお書き下さい。

50名（回答者の53%）の保護者より、意見・感想がよせられた。全体的に保護者から「よい評価」を得ていると考える。肯定的意見、否定的意見に分けて主な意見を列記し、それぞれ考察する。

[肯定的意見]

<児童作品について>

- 1枚の写真を工夫して変化させ、気持ちを表すのが楽しいですね。“なるほど！”っと思える作品がたくさんありました。楽しいので是非、新しいのに挑戦して下さい。待っています。
- 1つの作品を通して、同学年の子どもたちの考え方、思い方、感じ方がいろいろとあり、子どもの心を知ることができました。
- ゆかいで楽しいものがたくさんありました。家族みんなで「ああだ、こうだ」と言いながら見れるのがgoodです。
- 今回初めてこのホームページを見ました。学校で子どもの作品など展示されていてもなかなかゆっくり眺めることができないのですが、このように紹介していただくと落ち着いて、自分の子どもだけでなく、皆さんの作品も眺めることができ、とても参考になりましたし、楽しむことができました。
- 物を擬人化したコメントの発想に大変感心しました。また、アニメーションのような動きも上手く、とても楽しく見せてもらいました。

<作品へのコメント交換・交流学习について>

- コメントが書けるのも本人たちにより刺激になるようです。
- 作品へのコメントでも専門的な言葉などが使われたアドバイスなどもあってビックリしました。
- 他校の生徒さんからもコメントを入れていただいて1つの作品からたくさんの交流が生まれるのを感じました。
- 自分や友だちの作品が自宅で見られたこと、喜んでコメントを入れている姿を見て、時代の流れを感じました。
- 私は自分の子の作品と他の子の作品を比べてしまうとあまりほめる所がないな一と思ってしまっていたので、スタッフの方のコメントを見てなるほどと感心させられてしまいました。
- 見た人のコメントもおもしろかったです。子どもは知らない方からコメントが来て喜んでいました。
- インターネットの特長をうまく利用して地域を選ばずに他校との交流ができて大変よいことだと思います。今度もインターネットの有効活用を進めるべきだと思います。他校との合同授業、公開授業などはどうでしょうか。

<児童のコンピュータ・スキルについて>

- パソコンをこんなにも使いこなせるなんてうらやましい。
- どの作品もコンピューターの技を駆使してつくられているな…と思います。
- パソコンの技術を駆使しているところもすごいと思います。

<DPP Web Siteによる授業公開について>

- ホームページを見て、授業参観だけでは今ひとつ分かりにくかったこの作品の製作意図や子どもたちが製作していく過程がよく分かりました。
- 子どもたちの学習がよく分かりすばらしかった。

<DPP Web Siteの構成について>

- 非常に整理されていて見やすかった。

<考察>

保護者の方からいただいた感想のほとんどが肯定的意見であった。肯定的意見は、1) 児童作品に関する意見、2) 作品へのコメント交換・交流学习に関する意見、3) 児童のコンピュータ・スキルに関する意見、4) DPP Web Siteによる授業公開に関する意見、5) DPP Web Siteのデザインに関する意見に分類できる。

- 1) 児童作品に関する意見：昨年度と同様に、子どもたちの作品の面白さ・楽しさ・ユニークさについて述べられていた。保護者のDPPページを見る動機が、やはり自分の子どもの作品を見ることにまずあったことがわかる。また、家族で楽しく作品をもとに会話ができたと喜ぶ意見が目立った。
- 2) 作品へのコメント交換・交流学习に関する意見：昨年度と比較するとコメント交換を評価する意見が目立った。自宅でもコメントを投稿している子どもの様子に対する感想、他校との交流を評価する感想、インターネットを有効利用したコメント交換を評価する感想が目立った。
- 3) 児童のコンピュータ・スキルに関する意見：昨年度と同様に、子どもたちのコンピュータ・スキルが高まっていることに対する感想が目立った。
- 4) DPP Web Siteによる授業公開に関する意見：昨年度と同様に、このホームページを見て、「〇〇の気

持ち」の授業の様子がよくわかったという意見が目立った。特に題材のねらいや学習過程や制作過程がわかったことをよく評価する意見が多い。

- 5) DPP Web Siteのデザインに関する意見：少数ではあるが、DPP Web Siteが見やすかったという意見があった。

[否定的意見]

- 何事なのか意味も分からない。パソコンがないので…。
- パソコンがこわれて修理に出しており、見ることはできませんでした。残念です。
- ただ画像を上手に処理できず見にくくなってしまったりしていたのは先生のご指導で見やすくするようできたらよかったのに…と残念でした。
- 作者の名前がないので、どうしても漠然と見てしまいます（ニックネームだけでは、子どもの顔は浮かばない）。
- 生徒の作品ごとのコメントという方式が良いのかどうか…。少しまとめて…さんの作品は「…」というような大きな範囲でのコメント（掲示板）方式がよいような気がします。いちいち生徒の作品をクリックしていると5つぐらいであきて（つかれて）しまいます。
- toppageにもう少しイラスト等あった方がよいような気がします。すっきりしすぎているような気がします。
- DPP2003への参加校が少ないのでこれから参加校が増えていくことを願っています。

<考察>

否定的意見の数は、肯定的意見の数に比べ非常に少ない。否定的意見は、1) ITを使える人と使えない人の溝（デジタルデバイド）に関する意見、2) 制作指導に関する意見、3) 作者名に関する意見、4) 作品へのコメントの掲載画面のデザインに関する意見、5) その他に分類できる。

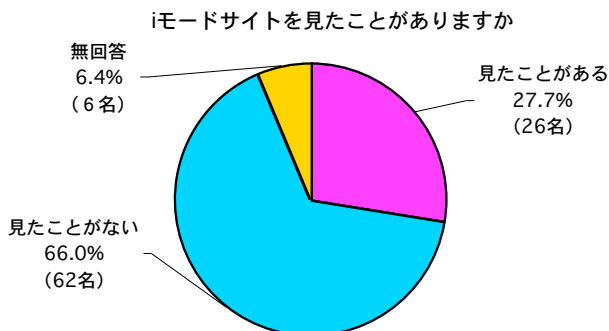
- 1) デジタルデバイドに関する意見：昨年度も同様の意見があった。今年度はiモードサイトによる児童作品の閲覧のサービスをおこなった。この件については、別途考察する。
- 2) 制作指導に関する意見：アニメーションを見やすくするためのスピード調整や最後のコマの文字のサイズの拡大に関する意見があった。
- 3) 作者名に関する意見：ニックネームだと全く知らない子どもの作品のように感じるという意見があった。自分の子どもの友だちの作品や自分の知人の子どもの作品を見ようと思った時に、ニックネームだと支障があったようである。
- 4) 作品へのコメントの掲載画面のデザインに関する意見：作品に寄せられたコメントを見る画面が小さいという意見があった。コメントをまとめて見ることができる画面の要望であった。
- 5) その他の意見：昨年度とは逆にDPP Web Siteのトップページのデザインがすっきりし過ぎて味気ないという意見や、DPPへの参加校の増加を期待する意見があった。

2、児童作品掲載されたiモードサイトについてお聞きします。

○ このiモードサイトを見たことがありますか。

○このiモードサイトを見たことがありますか。

見たことがある	26人	27.7%
見たことがない	62人	66.0%
無回答	6人	6.4%
	94人	100.0%

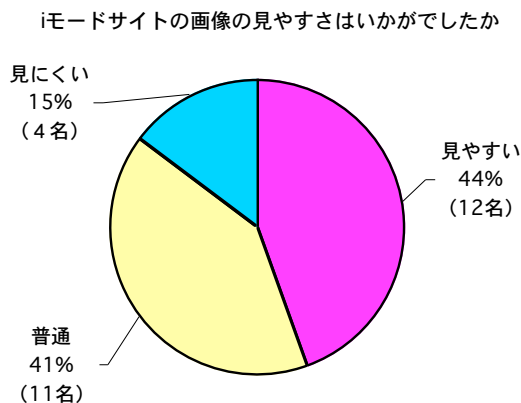


○ご覧になった方にお聞きします。

◇画像の見やすさはいかがでしたか。

◇画像の見やすさはいかがでしたか。

見やすかった	12人	44.4%
普通	11人	40.7%
見にくかった	4人	14.8%
	27人	100.0%



◇見にくかったのはどのような理由からですか。回答4名

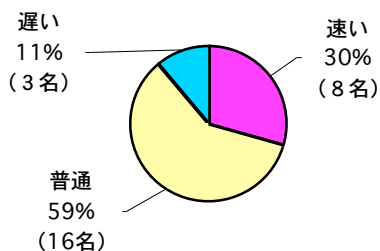
- ・ 画像が小さかったので。
- ・ 画像が小さい為、作品から発している声など、ほとんど読めない状態です。コメントも水色の文字で表示されている為、非常に読みづらいです。

○画像とコメントが表示されるまでの速度はいかがでしたか。

◇画像の見やすさはいかがでしたか。

速い	8人	29.6%
普通	16人	59.3%
遅い	3人	11.1%
	27人	100.0%

画像とコメントが表示されるまでの速度はいかがでしたか



〇iモードサイトに関するご意見ご感想をお書き下さい。

すべての感想を以下に掲載する。

<肯定的意見>

- 知人にも気軽にiモードサイトを見てもらった。
- 個人情報も外部に漏れることなく、子どもたちの活動が手に取るよううかがえ、非常によいと思います。
- 思っていたより鮮明に写っていたのでとても見やすかったです。アニメの動きの部分も表現できたらさらに楽しめるのに…と思いました。
- 他のiモードサイトに比べてスピードが速かったように思います。
- 古い機種のため画像が動かなかったので、いまいち気持ちが伝わらなかった。残念!!
- 気軽にどこでもみれるのはよいが、写真が小さいのが残念。
- 自分の子の作品を見つけるのに少し時間がかかってしまいました。絵が動かないのが残念でした。

<否定的意見>

- iモードサイトでは作品の動きがみれなかったのが残念でした。
- 画像サイズを大きくして文字色をはっきりさせれば見やすくなると思います。作品一覧なども文字サイズを小さくして一度にたくさんの一覧表示をした方がいいと思います。
- いっきにサイトが開けなく、いちいち段階を追って開かなければいけないことが手間だと思う。画像の見づらさが欠点だと思う。
- ホームページで見られる動きがiモードでは見られないのが残念でした（家でHPが見れる環境にない為）。
- 画像が最後の4コマ目しか出ないのでiモードサイトしか見ていない人は、内容が少し分かりにくいと思います。画像のコマ数を増やせないでしょうか。

<考察>

iモードの気軽さについて好評であることがわかる。かなりの保護者が見ているところを見ると、この活動への関心の高さが読み取れる。また、『友人に見せた』という『みせびらかし』の効果も見のがせないだろう。自宅のPCではそうはいかない。少し、興味を持ったのは、iモードを利用して、『何度見たか』である。自宅パソコンに比べて見る回数はどうだったのだろう。たいていのページであれば1度見れば終わりというケースが多いと思われる。新たな疑問である。絵が動かないのは、当初の予想通りに、不評と言わなくてはならないだろう。これは、PCとの比較でのことであろう。もし、iモードのみの作品展であれば、こうした意見は聞かれることはない。むしろ、iモードに掲載することを前提とした活動であればこうした問題は起きない。つまり、この『〇〇の気持ち』はiモードサイトに向かない活動であったということだと思われる。

3、お子さまの作品などをご覧になった後の、お子さんとの会話などご紹介いただければ幸いです。

44名（回答者の47%）の保護者より、意見・感想が寄せられた。否定的意見は一件であった。主な意見・感想を列記する。

<肯定的意見>

- 会話にならず、笑いが止まらなかった。
- 「見てないでしょー見てヨ」皆色々コメントを入れてくれているヨと言っていますが忙しくて。
- 授業参観では一方的に聞くだけだったので作品を見ながら子どもがひとつひとつ解説してくれて理解が深まり

ました。

- 「どのくらい時間がかかったの?」「5, 6時間ぐらいかな…。」「え～そんなに大変なんだあ。」「これはどうやってこうなったの?」「 $\bigcirc \times \triangle \div \square \ast \dots$ 」パソコンを触らない私にはさっぱり分かりませんでした。
- 自分の作品にいろいろな方がコメントを寄せてくれたことがとてもうれしかったようです。「見て!見て!」と言って…。私もうれしく読ませていただきました。
- 本人には自信作だったようで自慢げに紹介してくれました。また、作品のコメントには書いていない自分なりに工夫した点とかを話してくれました。自分の力で完成させたという満足感みたいなものが伝わって来て良い経験だったようです。
- 親子で見ました。コメントを息子の作品に残しました。コメントを読んだ息子がそんなこといってたらきりがいいよ!!?と言われコメントをかえました。楽しく見させていただきました。次回を楽しみにしています。
- 携帯の待ち受け画面にしたら子どもは大喜びでした。自分の作品へのコメントが〇〇コもあったよと喜んでおり、自分も他の人へ〇〇個コメントを書いたと言っていました。

<否定的意見>

- まだ、我が子の作品が掲載されません。毎日、開いて楽しみにしているのですが…。

<考察>

設問の意図は、『ほほえましいエピソードさがし』であった。思い通りの回答を得た。親から子への思い、子から親への思いなど双方向のやりとりがあったことが見て取れる。iモードによる発信によって携帯電話の待ち受け画面にしたなど保護者のアイデアや子どもへの積極的なかかわりなど、ホームページやiモードサイトでの発信の価値の高さを感じられる。また、ネットへの接続がなくても会話ができたという意見も一件あり、そうしたことから学校内での活動を何らかの形で発信していく価値を改めて感じる。否定的な意見が一つあった。「まだ、我が子の作品が掲載されません。」である。これは、その児童がDPPのWebSiteへの作品掲載を拒否したからであった。webが抱える根本的な課題であろう。DPPの活動の反省としては、重くとらえる必要はないと思われる。